

1954

一九五四(昭和二九年)

- 3・31 須賀川町、浜田村、西袋村、稲田村、石川郡小塩江村が合併し、須賀川市が誕生
- 4・1 市消防団が発足、福祉事務所を設置
- 4・27 市制施行後初の市長選挙、岡部宗城氏が初代市長に当選
- 5・10 市制施行祝賀式典
- 5・22 市歌発表会
- 6・10 市章を制定

一九五五(昭和三〇年)

- 3・1 消防署を設置
- 3・10 岩瀬郡仁井田村が須賀川市に合併
- 3・29 市制施行後初の市議会議員選挙(小選挙区制・定数30)
- 4・1 県立須賀川第二高等学校が開校
- 5・15 釈迦堂川橋竣工式
- 9・12 第二中学校が新築移転
- 10・1 嘱託員設置条例を施行
- 12・27 絹本著色亜欧堂田善画像が県重要文化財に指定

一九五六(昭和三一年)

- 4・1 第二中学校が開校
- 4・8 岡部市長が死去
- 5・10 澤田二郎氏が市長無投票初当選
- 5・21 服部けさ顕彰碑除幕式

一九六三(昭和三八年)

- 1・30 須賀川地方衛生処理組合が設立
- 4・9 県立須賀川女子高等学校が開校
- 4・30 市議会議員選挙(定数26)
- 5・10 小塩江小学校新校舎に移転
- 12・2 須賀川地区(旧市内)の町名・字名変更認証

一九六四(昭和三九年)

- 2・28 仁井田簡易水道が完成
- 3・3 本市を含む常磐・郡山地区が新産業都市に指定
- 3・24 双式浮彫阿弥陀三尊来迎供養石塔が県重要文化財に指定
- 4・19 鈴木貞夫氏が市長初当選
- 9・30 東京オリンピック聖火リレー
- 10・2 市制施行10周年記念式典
- 10・21 円谷幸吉選手が東京オリンピックマラソン競技で銅メダル

一九六五(昭和四〇年)

- 2・15 須賀川地方衛生処理組合(し尿処理施設)が完成
- 3・5 上水道第一次拡張事業起工式
- 3・31 稲田小学校新校舎が完成
- 4・1 若葉児童館が開館
- 4・1 東山小学校・大東中学校が開校
- 4・10 須賀川広報を「広報すかがわ」に改称

一九六六(昭和四一年)

- 4・1 和田幼稚園が市に移管・開園
- 4・15 第一小学校新校舎第一期工事完成、5・6年生移転
- 6・29 台風第4号水害が発生
- 9・25 台風第26号水害が発生

- 6・1 地方財政再建特別措置法適用により財政再建団体に認定
- 12・1 第二保育所が開所(社会福祉法人新栄町厚生会から移管)

一九五七(昭和三二年)

- 1・12 財団法人須賀川牡丹園保勝会が設立
- 4・1 第一小学校に愛護字級を開設
- 5・1 国道4号が開通
- 6・15 市農業委員会が設立
- 9・1 国民健康保険全面実施
- 12・10 愛護育成会が発足

一九五八(昭和三三年)

- 3・18 首藤保之助氏が市に阿武隈考古館資料約5万点を寄贈
- 4・1 奨学資金貸与制度を開始
- 第二保育所が開所
- 都市公園条例を施行
- 文化財保護条例を施行
- 4・10 古戸の大火(住家40棟全焼)
- 8・1 蝦夷穴古墳が県史跡に指定
- 9・17 青少年問題協議会を設置
- 9・27 台風第22号水害が発生

一九五九(昭和三四年)

- 3・17 古寺山の松並木が県天然記念物に指定
- 3・29 市議会議員選挙(大選挙区制・定数30)

- 11・15 公立岩瀬病院本館が完成
- 12・10 仁井田中学校新校舎落成式

一九六七(昭和四二年)

- 2・1 石川郡大東村が須賀川市に合併
- 2・28 須賀川地方衛生処理組合(こみ焼却施設)が完成
- 4・1 大東幼稚園が開園
- 4・28 市議会議員選挙(定数30)
- 5・2 新栄橋竣工式
- 12・1 上水道第一次拡張事業落成式
- 12・8 桐文木彩漆友が県重要文化財に指定
- 12・31 東山小学校新校舎が完成

一九六八(昭和四三年)

- 2・3 国道118号開通式
- 4・10 鈴木貞夫氏が市長当選(2期目)
- 5・28 上人壇廃寺跡が国史跡に指定
- 9・9 市庁舎建設に着手
- 10・1 大東母子健康センターに助産所を併設
- 11・3 明治百年記念顕彰式典

一九六九(昭和四四年)

- 4・1 大東小学校が開校
- 5・30 和田大仏及び横穴古墳群を市史跡に指定
- 7・20 老人福祉センター(老人憩の家)が開館
- 10・1 岩瀬牧場の玉蜀黍貯蔵所を市有形文化財に指定
- 10・31 市庁舎が完成
- 11・1 消防署庁舎が新築移転

一九七〇(昭和四五年)

- 4・1 稲田・仁井田・小塩江・大東地区に出張所設置

- 3・31 羽鳥用水(浜田須賀川幹線用水)が完成
- 4・1 第二小学校が開校
- 10・1 翠ヶ丘公園が都市計画法による都市公園に指定

一九六〇(昭和三五年)

- 3・31 財政再建団体から脱却
- 4・1 社会教育委員設置条例を施行
- 4・24 澤田二郎氏が市長当選(2期目)
- 11・28 関下簡易水道が完成

一九六一(昭和三六年)

- 4・6 子ども育成会連絡協議会が発足
- 4・25 第三小学校新校舎落成式
- 5・3 牡丹会館が完成
- 5・26 上人壇廃寺跡の発掘調査開始
- 6・28 台風第6号水害が発生(宇津峰大橋が流失)
- 12・18 市史編さん委員会を設置
- 12・22 第二中学校火災(3教室が半焼)

一九六二(昭和三七年)

- 2・11 連合婦人消防隊が発足
- 4・1 諏訪町児童遊園地を開設
- 8・9 市体育館が完成
- 8・20 中部地区土地区画整理事業に着手
- 9・29 新安積土地改良区が設立
- 10・1 災害対策本部条例を施行

- 5・21 昭和天皇・香淳皇后両陛下行幸啓(牡丹園・市役所など)
- 8・1 県下初の市立博物館が開館
- 9・1 県中都市計画区域に指定

一九七二(昭和四七年)

- 2・12 須賀川商工会館が東町に開館
- 3・10 総合計画基本構想を策定
- 3・20 須賀川駅に初の特急列車が停車
- 4・1 牡丹台野球場が完成
- 4・25 市議会議員選挙(定数30)
- 8・31 台風第23号水害が発生
- 9・7 台風第25号水害が発生
- 11・1 西川土地区画整理事業に着手

一九七三(昭和四八年)

- 1・9 札幌冬季オリンピック聖火リレー
- 3・10 中央公民館が完成
- 3・22 青年県外研修派遣事業を初実施
- 4・1 阿武隈小学校が開校
- 4・10 澤田二郎氏が市長当選(通算3期目)
- 5・27 牡丹台庭球場が完成
- 6・21 降ひょう被害が発生
- 10・5 郡山地方広域市町村圏組合が設立

- 3・9 勤労青少年体育センターが完成
- 3・31 図書館が新築移転
- 4・1 須賀川地方広域消防組合が設立
- 5・2 郡山地方土地開発公社が設立
- 7・1 部設置条例を施行(室4部制)
- 8・31 中部地区土地区画整理事業が完了
- 11・26 東北縦貫自動車道須賀川インターチェンジが開通



落成当時の市庁舎(S44)



円谷幸吉選手の故郷がい旋パレード(S39)



国道4号開通式(S32)



市制施行祝賀式典(S29)

- 1974 (昭和四十九年)
  - 2・1 稲田公民館が完成
  - 4・1 うつみね保育園、ぼたん児童館、稲田幼稚園が開園・開館
  - 5・7 古寺山自奉養が県重要無形民俗文化財に指定
  - 10・1 重度心身障がい者医療費が無料化
  - 11・20 市制施行20周年記念式典
  - 11・28 経済変動緊急対策協議会を設置(石油危機対策)
- 1975 (昭和五〇年)
  - 2・28 小塩江公民館が完成
  - 3・12 横山土地区画整理事業に着手
  - 4・1 ぼたん保育園、うつみね児童館、小塩江幼稚園が開園・開館
  - 4・11 県立岩瀬農業高等学校が鏡石町に移転
  - 4・27 市議会議員選挙(定数30)
  - 7・10 牡丹台水泳場が供用開始
  - 9・15 坂本鉄蔵氏が初の名誉市民に推戴
  - 9・29 財団法人坂本鉄蔵育英会が設立
- 1976 (昭和五一年)
  - 2・7 太田貞喜コレクションが市に寄贈
  - 4・1 仁井田公民館、仁井田幼稚園が開館・開園
  - 4・11 澤田三郎氏が市長無投票当選(通算4期目)
  - 5・24 上人壇廃跡の第4次発掘調査開始
  - 6・6 第1回市民「日環境美化運動を実施
- 1977 (昭和五二年)
  - 1・12 公共下水道工事に着手
  - 3・30 下江持橋竣工式
  - 4・26 消防本部庁舎が新築移転
- 1978 (昭和五三年)
  - 10・15 西袋公民館が新築移転
  - 10・6 優良都市として、地方自治30周年記念式典で自治大臣賞を受賞
  - 11・1 福祉事務所と教育委員会事務局が旧消防庁舎跡に移転
  - 11・3 休日夜間急病診療所が開設
- 1979 (昭和五四年)
  - 3・8 西袋第一小学校新校舎が完成
  - 4・1 墓地公園を開設
  - 4・7 県立長沼高等学校が開校
  - 7・2 閑下人形が県重要無形民俗文化財に指定
  - 7・2 おはよう青空市場が開設
  - 8・20 第1回釈迦堂川花火大会を開催
  - 12・22 移動図書館車「うつみね号」運行開始
- 1980 (昭和五五年)
  - 1・1 「須賀川地方衛生処理組合」を「須賀川地方保健環境組合」に改称
  - 「休日夜間急病診療所」を「須賀川地方休日夜間急病診療所」に改称
  - 4・22 市議会議員選挙(定数30)
  - 6・1 東公民館が開館
  - 7・1 勤労青少年ホーム、武道館が開館
  - 9・23 牡丹台庭球場に夜間照明を設置
  - 10・13 市民温泉が仮開館
- 1981 (昭和五六年)
  - 12・24 クリスマス豪雪による雪害が発生
  - 3・20 第2次総合計画基本構想を策定
  - 5・23 文化センターが開館
  - 市民憲章、市の花「ぼたん」、市の木「あかまつ」を制定
  - 「老人福祉センター」を「老人憩いの家」に改称
  - 7・1 玉川村と合同で福島空港須賀川東設置促進協議会を設置
  - 8・1 老人福祉センターが完成
  - 8・22 台風第15号水害が発生
  - 8・23 福島空港誘致総決起大会
  - 12・12 青津保壽氏が刀装具628点を市に寄贈
- 1982 (昭和五七年)
  - 2・1 福島空港建設地が須賀川東に決定
  - 4・1 柏城小学校が開校
  - 空港建設対策本部を設置
  - 労働福祉会館が開館
  - 4・2 財団法人シルバー人材センターが発足
  - 9・7 福島空港と地域開発をすすめる会が発足
  - 9・12 台風第18号水害が発生
  - 9・13 浜田地区県営圃場整備事業竣工式
- 1983 (昭和五八年)
  - 4・1 共同福祉施設(市民温泉)が開館
  - 4・8 稲田幼稚園新園舎が完成
  - 市議会議員選挙(定数26)
  - 6・14 須賀川駅前土地区画整理事業に着手
- 1984 (昭和五九年)
  - 3・1 市制施行30周年記念式典
  - 4・1 第一保育所が新築移転
  - 4・15 高木博氏が市長初当選
  - 5・29 横山土地区画整理事業が完了
  - 7・14 第一中学校新校舎が完成
  - 7・17 山寺土地区画整理事業に着手
  - 10・21 市制施行30周年記念市民植樹祭(282本の桜植樹)
  - 11・16 西川土地区画整理事業が完了
  - 12・6 岩瀬浄水場通水式
- 1985 (昭和六〇年)
  - 4・1 「広報すかがわ」月一回、毎月一日発行
  - 4・27 市庁舎前市民の庭が完成、市民憲章碑除幕式
  - 8・28 福島空港が国の第5次空港整備五箇年計画に組み入れ決定
  - 9・11 澤田悌氏が名誉市民に推戴
- 1986 (昭和六一年)
  - 3・10 稲田中学校新校舎が完成
  - 3・20 新総合計画基本構想を策定
  - 3・31 太田貞喜の亜欧堂田舎コレクション(82点が県重要文化財に指定)
  - 4・1 保健センターを開設
  - 6・11 第一中学校新校舎が完成
  - 8・4 台風第10号水害(8.5集中豪雨水害)が発生(市初の「災害救助法」適用)
  - 8・5
- 1987 (昭和六二年)
  - 12・3 国が郡山地域テクノポリス開発計画を承認
  - 2・10 西袋中学校新校舎が完成
  - 3・27 白河・石川・岩瀬・田村・安積・安達六郡絵図が県重要文化財に指定
  - 4・1 明るい長寿社会を築く市民基金を創設
  - 4・26 市議会議員選挙(定数26)
  - 4・28 牡丹姫像除幕式
  - 5・5 異常湧水で約7600世帯が断水・減水
  - 「異常湧水対策本部」を設置
  - 7・14 集中豪雨水害が発生
  - 8・21 西川第二土地区画整理事業が完了
  - 10・28 上水道創設50周年記念式典
  - 12・18 諏訪町土地区画整理事業に着手
- 1988 (昭和六三年)
  - 4・1 大東公民館が新築移転
  - 県立清陵情報高等学校が開校
  - 県立須賀川第二高等学校が「県立安積第二高等学校須賀川校舎」に改編
  - 高木博氏が市長無投票当選(2期目)
  - 4・10 福島空港起工式
  - 9・14 福島空港起工式
  - 9・27 農業災害対策本部(災害)を設置
  - 10・7 農業振興推進会議を設置
- 1989 (平成元年)
  - 4・1 仁井田小学校が新築移転
  - 芭蕉記念館、産業会館が開館
  - 4・8 心身障がい児通園施設「たけのこ園」が開園
  - 5・13 第一回すかがわ国際短編映画祭を開催
  - 7・10 翠ヶ丘公園が「日本の都市公園1000選」に選定
- 1990 (平成二年)
  - 1・1 市旗を制定
  - 土曜開庁開始(第2・第4土曜日)
  - 3・31 大森小学校が新築移転
  - 4・1 ふれあいセンターが開館
  - 須賀川地方保健環境組合「新ごみ処理施設」が完成
  - 4・2 須賀川物産振興協会が発足
  - 4・28 乙字ヶ滝が「日本の滝100選」に選定
  - 11・27 須賀川物産振興協会が発足
- 1991 (平成三年)
  - 3・14 新総合計画2000基本構想を策定
  - 「頭脳立地法の集積促進地域」に指定
  - 3・29 中央公民館新館が開館
  - 4・1 4歳未満児の医療費無料化
  - 4・21 市議会議員選挙(定数26)
  - 8・1 第二中学校新校舎が完成
  - 9・30 福島空港旅客ターミナルビル工事に着手
  - 10・5 JR須賀川駅新駅舎が開業
  - 11・29 福島空港滑走路長2500mに延長決定
- 1992 (平成四年)
  - 2・14 稲田小学校校舎大規模改造工事が完成
  - 大東地域体育館が開館
  - 須賀川テクノカルチャーガーデン開発基本構想を発表
  - 4・1 コミュニティプラザを開設
  - 4・12 高木博氏が市長当選(3期目)
  - 7・27 下宿土地区画整理事業に着手
  - 10・1 公共下水道一部供用開始



須賀川駅新駅舎落成式(H3)



松明太鼓初披露(H元)



文化センター新築落成(S56)



優良都市として自治大臣賞受賞披露式(S52)

- 10・3 市役所完全週休2日制開始
- 11・16 デイサービスセンターを開設

一九九三(平成五年)

- 1・29 福島空港旅客ターミナルビルが完成
- 3・20 福島空港が札幌・名古屋・大阪の3路線で開港
- 4・1 仁井田、西袋、小塩江各地域体育館が開館
- 6・14 福島空港国際空港化促進協議会が設立
- 8・1 中国洛陽市と友好都市締結
- 8・20 西袋第一小学校が新築移転
- 10・29 牡丹園の牡丹が宝塚市へ約230年振りに里帰り

一九九四(平成六年)

- 2・1 須賀川駅前自転車等駐車場を開設
- 3・22 財団法人須賀川市スポーツ振興協会が設立
- 3・28 市制施行40周年記念式典
- 市の鳥「かわせみ」を制定
- 市マスコットキャラクター「ポーター」を発表
- 須賀川アリーナ落成式
- 3・31 七里ヶ浜遠望園が県重要文化財に指定
- 4・1 花と緑のまちづくり基金を創設
- 稲田、浜田各地域体育館が開館
- 大東児童クラブを開設
- 5・1 市民スポーツ広場を開設
- 6・1 泉田地区児童館整備事業竣工式

一九九五(平成七年)

- 4・1 市民スポーツ会館が開館
- 県立須賀川女子高等学校が「県立須賀川桐陽高等学校」に改称
- 4・4 障がい者小規模通所授産所「音田塚」を開設
- 4・23 市議会議員選挙(定数26)

- 6・5 未来博進入路市道2-24号線が開通
- 6・27 東部環状線未来大橋竣工式
- 7・7 福島県博覧会「つつくしま未来博」開催(9月30日まで)
- 9・16 須賀川橋竣工式
- 11・1 ふくしま森の科学体験センターが開館
- 児童福祉計画「エンゼルプラン」を策定

二〇〇二(平成一四年)

- 1・1 ファミリーサポートセンターが発定
- 3・29 上人壇廃寺跡出土品が県重要文化財に指定
- 3・31 保健計画「健康アップ21」を策定
- 4・1 完全学校週5日制開始
- 7・1 市議会だより第1号発行
- 8・30 小塩江小学校新校舎が完成
- 10・30 地域情報化計画を策定

二〇〇三(平成一五年)

- 1・1 男女共同参画推進条例を施行
- 1・15 牡丹大使10人を委嘱
- 2・28 小塩江幼稚園新園舎が完成
- 4・1 小塩江児童クラブ館が開館
- 4・27 市議会議員選挙(定数26)
- 10・1 農作物異常気象災害対策本部を設置
- 11・21 西部2号雨水幹線分水路が完成
- 12・25 長沼町との法定合併協議会を設置

二〇〇四(平成一六年)

- 3・26 市制施行50周年記念式典
- 4・26 岩瀬村との法定合併協議会を設置
- 5・28 下宿土地区画整理事業が完了
- 7・1 あきない広場アトリウム「まちなかプラザ」を開設

- 4・28 フラワーセンターを開設
- 8・18 福島県博覧会の会場地に須賀川テック二方ルリサーチガーデン計画が決定
- 10・14 ふくしま国体秋季大会で銃剣道競技と卓球競技を開催(9日まで)
- 10月15日には天皇皇后両陛下行幸啓(卓球競技)

一九九六(平成八年)

- 2・6 北部都市整備事業に着手
- 3・1 J.A.すかがわ岩瀬が発定
- 3・4 新総合計画2000後期計画を策定
- 4・1 西袋児童クラブ館が開館
- 須賀川地方保健環境総合「新し尿処理施設」が稼働
- 4・14 高木博氏が市長無投票当選(4期目)
- 6・29 高木市長が死去
- 7・31 青少年親善訪中団が中国洛陽市を訪問
- 8・11 相楽新平氏が市長初当選

一九九七(平成九年)

- 3・27 第二保育所が新築移転
- 3・31 国営母畑地区総合農地開発事業が完了
- 4・1 駅前児童クラブ館が開館
- 資源物分別収集開始
- 6・5 稲地区児童館整備事業竣工式
- 6・25 小塩江中学校新校舎が完成
- 9・4 高齢者市政トキキング事業がスタート
- 10・16 福島空港東側アクセス道が全線開通

一九九八(平成一〇年)

- 3・30 東部環状線(土人担丁区)開通式
- 4・1 仁井田児童クラブ館が開館
- 介護保険準備室・つつくしま未来博推進室を設置

- 7・11 相楽新平氏が市長無投票当選(3期目)
- 8・26 須賀川市・長沼町合併協定調印式
- 10・19 須賀川市・岩瀬村合併協定調印式
- 11・19 浜尾遊水地が完成

二〇〇五(平成一七年)

- 2・16 ISO14001認証を取得
- 4・1 須賀川市、長沼町、岩瀬村が合併
- 長沼支所・岩瀬支所を開所
- 5・28 下宿土地区画整理事業が完了
- 5・30 大桑原地区児童館整備事業竣工式
- 12・5 渡辺家住宅主屋などが国登録有形文化財に指定
- 12・17 新橋竣工式

二〇〇六(平成一八年)

- 2・1 地域新エネルギービジョンを策定
- 3・31 新生須賀川水環境整備計画が内閣府地域再生計画に認定
- 4・1 地域包括支援センター(中央、西部、東部、長沼・岩瀬)が開設
- 4・5 長沼東保育所が新築移転
- 11・19 第18回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)で須賀川市チームが初優勝
- 12・21 総合計画「新生すかがわ2007」基本構想を策定

二〇〇七(平成一九年)

- 1・7 須賀川アリーナに田合幸吉メモリアルホールがオープン
- 3・31 市国民保護計画を策定
- 4・1 総合福祉センターが開館
- 市民との協働によるまちづくり指針を策定
- 4・3 東部環状線が全線開通

- 4・20 宮の杜「ニュータウン」竣工式
- 5・26 館ヶ岡地区児童館整備事業竣工式
- 6・1 松塚地区児童館整備事業竣工式
- 8・26 台風第4号水害(8月末豪雨水害)が発生
- 8・30 情報公開条例を施行
- 10・1 都市計画マスタープランを策定
- 12・16 都市計画マスタープランを策定

一九九九(平成一一一年)

- 2・4 すかがわ男女共同参画プラン21を策定
- 2・26 市ホームページを開設
- 3・29 市シンボルマーク「花のエンゼル」を制定
- 4・25 市議会議員選挙(定数26)
- 6・17 福島空港初の国際定期路線が開設
- 7・7 市つつくしま未来博実行委員会が設立
- 10・1 市民交流サロン「よりあい」を開設
- 12・1 「あきない広場」を開設

二〇〇〇(平成一二一年)

- 1・1 環境基本条例を施行
- 7・13 福島空港2500m滑走路全面供用開始
- 7・14 仁井田中学校新校舎が完成
- 7・16 相楽新平氏が市長無投票当選(2期目)
- 11・6 市つつくしま未来博ボランティアセンターが設立
- 11・30 ふくしま森の科学体験センターが完成
- 12・21 総合計画「しあわせアップ21」基本構想を策定

二〇〇一(平成一三年)

- 4・1 稲田児童クラブ館が開館
- 財団法人ふくしま科学振興協会が設立

- 4・7 幼保一体化施設白江こども園が開園
- 4・22 市議会議員選挙(定数28)
- 11・30 今出ダム利水事業中止を決定

二〇〇八(平成二〇年)

- 4・4 稲古館古墳出土銅漆作大刀が県重要文化財に指定
- 4・8 幼保一体化施設白方こども園が開園
- 7・20 橋本克也氏が市長初当選
- 9・30 地域医療協議会が設立
- 10・1 児童クラブを開設(西袋二小、白江、白方6年生まで無料化)

二〇〇九(平成二一年)

- 2・2 乗合タクシーの運行開始
- 2・17 定額給付金対策室を設置
- 5・1 新型インフルエンザ対策本部を設置
- 10・1 こども医療費助成制度を開始(小学校6年生まで無料化)
- 11・2 須賀川地方休日夜間救急診療所平日夜間診療開始
- 12・22 第三小学校新校舎が完成

二〇一〇(平成二二年)

- 1・8 須賀川地方休日夜間救急診療所土曜日夜間診療開始
- 3・31 「結の辻」を開設
- 7・10 工業製品認定制度を創設
- 9・27 大森小児童クラブを開設(全小学校学区の児童クラブ設置が完了)
- 10・1 須賀川地方休日夜間救急診療所平日夜間診療開始
- 3・11 午後2時46分、東日本震災が発生
- 公立岩瀬病院新棟が稼働

二〇一一(平成二三一年)

- 3・11 午後2時46分、東日本震災が発生
- 公立岩瀬病院新棟が稼働



ふくしま駅伝で須賀川市チームが悲願の初優勝(H18)



つつくしま未来博が開催(H13)



福島空港東側アクセス道全線開通(H9)



福島空港が開港(H5)

- 3・25 諏訪町土地区画整理事業が完了
- 4・1 食料・農業・農村基本条例を施行
- 5・1 牡丹会館が新築移転
- 5・9 市内循環バスの運行開始
- 8・29 放射性物質除染方針を策定
- 9・4 市議会議員選挙(定数28)
- 9・21 台風15号水害が発生(釈迦堂川、阿武隈川とも当時の過去最高水位を記録)
- 12・20 震災復興計画を策定

二〇二二(平成二四年)

- 1・1 原子力災害対策直轄室を設置
- 1・31 除染計画(第1版)を策定
- 2・17 大阪府豊中市と空港で結ぶ友好都市提携協定を締結
- 3・11 東日本大震災犠牲者追悼式
- 4・1 震災復興対策直轄室を設置
- 6・14 新庁舎建設基本計画を策定
- 6・29 仮設庁舎を文化センター駐車場に設置
- 7・22 橋本克也氏が市長無投票当選(3期目)
- 7・27 屋内子ども遊び場「すかがわキッズパーク」を開設
- 9・6 亜欧堂田善の銅版画作品などが国重要文化財に指定
- 12・26 第7次総合計画「まちづくりビジョン2013」基本構想を策定

二〇二三(平成二五年)

- 3・31 復興まちづくり事業計画を策定
- 5・2 株式会社「ぶる須賀川」が設立
- 5・5 「M78星雲 光の国」姉妹都市提携県が「造成宅地防災区域」(岩測字池下地内)を指定
- 7・7 JR須賀川駅前に市×M78星雲光の国「姉妹都市提携記念モノユメント」を設置

二〇一八(平成三〇年)

- 1・11 市民交流センター愛称ロゴを発表
- 1・29 中学生による初模擬議会
- 4・1 大黒池防災公園が供用開始
- 4・1 小中一貫教育校稲田学園が開校
- 8・21 市民交流センター落成式
- 8・27 須賀川二小児童クラブ館が開館
- 11・22 「松明あかし」が冬の季語として俳句歳時記に収載

二〇一九(平成三一年・令和元年)

- 1・11 市民交流センターが開館
- ウルトラFMが開局
- 1・23 「おひやま広域連携中核都市圏形成の連携協約を締結
- 3・18 国が第2期中心市街地活性化基本計画を認定
- 3・20 地域公共交通網形成計画を策定
- 4・1 市役所防災広場が供用開始
- 須賀川地方保健環境組合の「新こみ処理施設」が稼働
- 5・8 観光物産振興協会が発足
- 6・30 立地適正化計画を策定
- 8・11 市議会議員選挙(無投票・定数24)
- 10・1 保育施設などに通う3〜5歳児の給食費無償化
- 10・12 令和元年東日本台風(過去最大規模の水害発生)
- 10・13 令和元年東日本台風(過去最大規模の水害発生)

二〇二〇(令和二年)

- 2・21 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
- 2・26 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定
- 3・24 JR水郡線川東駅新駅舎が完成

- 7・31 主要地方道中野須賀川線袋田工区(袋田ハイパス)が開通
- 8・28 第1回子ども・子育て会議を開催
- 9・8 里橋(鈴ヶ岡)竣工式
- 10・19 大東中学校新校舎が完成
- 11・10 神奈川県座間市と友好交流都市協定を締結
- 12・2 公立岩瀬病院新外来棟が完成

二〇二四(平成二六年)

- 2・4 芭蕉記念館が本町地内に移転
- 3・28 市制施行60周年記念式典
- 国が中心市街地活性化基本計画を認定
- 4・1 防災行政無線を開局(市内全域197カ所に設置)
- 6・20 国が創業支援事業計画を認定
- 7・7 翠ヶ丘公園(わんぱく広場)を改修
- 7・11 中央体育館が開館
- 8・1 水道お客さまセンターを開設
- 10・18 円谷幸吉メモリアルホールを改修

二〇二五(平成二七年)

- 1・21 地方創生・人口減少対策本部を設置
- 3・19 災害公営住宅「馬町団地」の入居開始
- 4・1 長沼東部「ミニミニセンター」が開館
- 4・2 山寺池公園全面供用開始
- 4・24 藤沼温泉「やまゆり荘」が営業再開
- 6・17 秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御視察
- 7・1 災害公営住宅「東町団地」の入居開始
- 8・9 市議会議員選挙(定数24)
- 8・25 第1小学校新校舎が完成
- 須賀川一小児童クラブ館が開館
- 10・23 長沼中学校新校舎落成式
- 10・30 「人口ビジョン」まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定

二〇二二(令和三年)

- 4・16 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言対象区域に県全域が指定(5月14日解除)
- 5・31 阿武隈川堤防(浜尾遊水地西側)本復旧工事が完了
- 7・19 橋本克也氏が市長無投票当選(4期目)
- 9・1 地域外来(発熱外来)を開設
- 10・2 すかがわ観光物産館「flatto」が開館
- 10・9 風流のはじめ館が開館
- 10・26 稲田公民館が新築移転
- 11・3 特撮アーカイブセンターが開館

二〇二二(令和三年)

- 2・1 市公式LINE運用を開始
- 2・13 福島県沖を震源とする地震が発生
- 3・16 円谷英二氏、円谷幸吉氏を名誉市民に推戴
- 3・19 公共施設等個別施設計画を策定
- 3・27 東京2020オリンピック聖火リレー
- 4・6 義務教育学校稲田学園が開校
- 4・11 凍霜害が発生
- 4・27 新型コロナウイルススワッチンの集団接種を開始
- 5・11 降ひょう被害が発生
- 6・15 文化センターがリニューアルオープン
- 9・5 円谷幸吉メモリアルホールの展示内容を拡充
- 10・17 円谷幸吉メモリアルホールの展示内容を拡充

二〇二三(令和四年)

- 1・5 成年後見支援センターを開設
- 2・2 SDG推進協議会を設置
- 3・16 福島県沖を震源とする地震が発生

二〇二六(平成二八年)

- 1・20 マイナンバーカード交付開始
- 3・1 JA夢みなみが発足
- 3・18 第1小学校新校舎が完成
- 3・30 災害公営住宅「弘法団地」「山寺北団地」の入居開始(全1000戸の整備が完了)
- 4・1 認定こども園大東こども園が開園
- 町会所会館条例を施行
- 5・11 牡丹園発祥250年記念式典
- 6・17 須賀川駅前土地区画整理事業が完了
- 7・25 橋本克也氏が市長無投票当選(3期目)
- 11・28 市民交流センター愛称「tette」を発表

二〇二七(平成二九年)

- 1・18 藤沼ダムで試験湛水
- 3・10 公共施設等総合管理計画を策定
- 3・23 総合計画策定条例を制定
- 3・30 新庁舎落成式
- 4・1 5歳児の保育料・授業料を無償化
- 第三西袋児童クラブ館が開館
- 白鳩保育園が公私連携型保育所に移行
- 4・3 公立岩瀬病院産科婦人科外来診療を開始
- 4・24 藤沼ダム農業用水の供給再開
- 4・25 国道118号松塚バイパスが開通
- 5・8 新庁舎が開庁
- 6・1 市役所窓口でパスポート交付を開始
- 8・18 市消防団初の女性消防団員に辞令交付
- 10・1 山寺土地区画整理事業が完了
- 10・1 東西循環バスの土曜日運行を開始
- 12・21 第8次総合計画「まちづくりビジョン2018」を策定

二〇二三(令和五年)

- 4・1 長沼・岩瀬地域が「過疎地域」に指定
- おおば循環バスが運行開始
- 県立須賀川創英館高等学校が開校(県立須賀川高等学校と県立長沼高等学校が統合)
- 降ひょう被害が発生
- すかがわ特撮塾が開講
- 相澤晃記念杯藤沼湖駅伝競走・ロードレース大会初開催
- 9・19 過疎地域持続的発展計画を策定
- 9・29 パークPFI(公募設置管理制度)による県内初の飲食施設がオープン
- 11・3 第9次総合計画「まちづくりビジョン2023」を策定
- 1・8 二十歳のつどい初開催
- 3・31 牡丹キャンペーンクルー38年の歴史に幕(ミス牡丹時代も含めて)
- 4・1 教育支援センターを設置
- 文化都市すかがわ推進戦略本部を設置
- 須賀川アリーナを「円谷幸吉メモリアルアリーナ」に改称
- 4・4 凍霜害が発生
- 4・25 パークPFIによる温浴施設がオープン
- 4・28 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行
- 5・8 カーパーンニョートル宣言
- 5・29 国史跡上人壇麿寺跡整備基本計画を策定
- 6・30 市議会議員選挙(定数24)
- 8・6 公立岩瀬病院創立150周年記念式典
- 10・14



東京2020オリンピック聖火リレー(R3)



市民交流センターオープニングセレモニー(H31)



市×「M78星雲 光の国」姉妹都市提携記念モノユメント除幕式(H25)



文化センター駐車場に設置した仮設庁舎(H24)